

被災したまちを元気づけ復興の先頭に立ってきたのは、仮設商店街でした。
再生期の前半にあたる平成26・27年度は、仮設から本格再建へ向かう過渡期となりました。



女川町

シーパルピア女川

女川町のまちづくり中心地観光となりわいの拠点に

平成27年12月に誕生した、便利なミニスーパーや女川の味を堪能できる飲食店、ものづくりをする梱包資材会社まで、多彩な27店舗が集ったテナント型の商業施設です。平成27年3月に開業したJR女川駅前にあり、被災者と誘致による起業者が共に开店し、コミュニケーションを取りながら新しいまちづくりが行われています。商店街のオープンと同時に多目的ホールや会議室のある女川町まちなか交流館も完成し、観光となりわい両方の拠点になっています。



気仙沼市

南町紫市場

気仙沼最大の仮設商店街 期限迫り新たなステージへ

老舗の寿司店から生活雑貨店、土産物屋まで、50以上の店舗が集まる気仙沼で最大規模の仮設商店街です。震災直後の青空市からスタートし、復興が進む中でにぎわいの中心となってきましたが、平成29年4月には土地区画整理事業に伴い閉鎖となります。共同事業化による災害公営住宅と共同店舗を一体化したビルの建設や、「気仙沼地域開発」による商業施設開業の計画等、新しいまちづくりとともに本格再建へ向けた取り組みが進んでいます。



南三陸町

南三陸さんさん商店街

復興のシンボル商店街が新たなまちの中心に本設移転

平成24年に誕生し、南三陸町で被災商店主等が一丸となって作り上げた仮設商店街です。住民の交流の場となると同時に、「南三陸キラキラ丼」等の地元名物が味わえる観光スポットとして毎年20万人以上が訪れ、復興を牽引してきました。平成28年12月に仮設での営業を終え、平成29年3月には嵩上げた志津川地区に本設の商店街として開業します。新たなまちの中で、コミュニティの中心を担うことが期待されています。



亘理町

亘理町荒浜にぎわい回廊商店街

観光の中心地ににぎわいを創出活気あるイベントも

亘理町の観光の中心である、荒浜地区に平成27年3月に誕生した商店街です。地域資源活用総合交流施設「きずなぼーとわたり」と「わたり温泉鳥の海」の中間地点にあり、ふるさと復興商店街の仮設店舗で営業を続けてきた店を含む8店舗でスタートしました。商店街の中心にはイベントができるアーケードがあります。亘理ふるさと夏まつりをはじめ様々なイベントが開催され、地元からも遠方からも人々が集まるにぎわいの拠点となっています。